

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 社会福祉法人 回生会

(ユニット名) グループホーム福寿

記入者(管理者)

氏名 高橋 早智子

評価完了日

平成19年8月22日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月9日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 3870600362 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 回生会 | | |
| 事業所名 | グループホーム 福寿 | | |
| 所在地 | 西条市飯岡3381番地の1 (電話) 0897-52-1058 | | |
| 管理者 | 高橋 早智子 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 JMACS | | |
| 所在地 | 松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年8月22日 | 評価確定日 | 平成19年10月9日 |

【情報提供票より】 (平成19年6月30日事業所記入)

| | | | |
|----------------------------|--------------------|------------|-----------------------|
| (1)組織概要 | | | |
| 開設年月日 | 平成13年4月5日 | | |
| ユニット数 | 1ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 8人 | 常勤 | 8人, 非常勤 0人, 常勤換算 8.0人 |
| (2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く) | | | |
| 家賃(平均月額) | 20,000 円 | その他の経費(月額) | 利用状況により異なる |
| 敷金 | 有(円) | (無) | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 1,000 円 | | |
| (3)利用者の概要 (平成19年6月30日現在) | | | |
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 0 名 | 女性 9 名 |
| 要介護1 | 1 名 | 要介護2 | 5 名 |
| 要介護3 | 3 名 | 要介護4 | 0 名 |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 |
| 年齢 | 平均 86 歳 | 最低 76 歳 | 最高 97 歳 |
| (4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算 | | | |
| 指定 (あり)・なし | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 | | |
| 指定 あり (なし) | 指定認知症対応型通所介護 | | |
| 届出 あり (なし) | 短期利用共同生活介護 | | |
| 加算 あり (なし) | 医療連携体制加算 | | |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

| |
|--|
| <p>居室には、時計、鏡、テレビ、ソファ等が持ち込まれ、お花が生けてあった。職員のアイデアで大きく引き伸ばしたご家族とご本人の写真が掲示されていた。 法人内研修の年間計画があり、職員が順次受講するようになっている。また、外部研修についても研修の情報を収集し、積極的に参加されている。 火災時、地震時の避難訓練を実施されている。約3分ほどで利用者全員の避難が完了した。いざと言う時に、母体施設や地域の協力が得られるよう依頼されている。</p> |
|--|

【質向上への取組状況】

| |
|---|
| <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果を受けて、事業所の案内や表札を工夫する等、全職員で話し合い、改善に向けて取り組まれた。</p> |
| <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・自己評価は、運営者・管理者・職員が作成し、職員会の意見を聞くようにされた。</p> |
| <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・運営推進会議には、体調等にも配慮しながら利用者にも参加いただいている。地域の方より地域での認知症の理解が進んでいないとの意見があり、事業所のできる事について考えておられた。</p> |
| <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・家族会を年に1回開催されている。ご家族同士でお話は弾んでおられるが、意見や要望等は少ない。ご家族から事業所の日常生活が知りたいとの意見があり、事業所便りに載せるようにされた。</p> |
| <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・お寺の行事等へ参加されたり、敬老の日には、だんじりが事業所に来てくれるようになっている。</p> |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------|------|--|--|---------------------------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | (自己評価) | | |
| | | | 利用者一人ひとりが安らぎのあるその人らしい暮らしが続けられることを基本理念にしている。 | | 運営者、管理者、職員全員で理念をつくるようにしたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 理念に「しあわせ、やすらぎづくり」と掲げ、お寺の住職や保育園の園児達等と交流されている。 | | 今後、さらに地域に密着した事業所を目指すための理念について、話し合いを行う予定となっていた。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 理念をわかりやすいように玄関の入口正面に掲示しており、毎月の目標も掲示している。 | | 職員全員で理念について勉強し、共有する。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 職員で今月の目標を決め、理念の実現に向けて取り組まれている。 | | |
| 3 | | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 地域の方との交流は少ないので、運営推進会議等で理解してもらえよう取り組んでいる。 | | 運営推進会議で民生委員の方から地域の方がグループホーム自体理解されていないとの発言があり、ホームでも地域の方に理念の理解が得られるよう取り組んでいく。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|---------------------------|---|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 散歩時等、地域の方とお会いすれば挨拶する程度である。併設施設利用の方が気軽に立ち寄ってもらえる様心がけている。施設内の奥にある為、地域の方が立ち寄るには入りにくいと思われるが、地域のボランティアの方たちとの交流を大切にしている。 | | 地域のボランティア（フラダンス、日舞、剣舞、獅子舞、絵手紙、似顔絵等）の方との交流を続けていく。 |
| 5 | 3 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 地域のお寺の行事や保育園の運動会や発表会等に招待して頂き参加している。また、保育園からはクリスマスにリース、七夕かざり等季節のものを届けて頂き、正月にはお寺から掛け軸を届けて頂いている。 | | 様々な行事に参加させて頂いている。これからも交流を深めていく。 |
| | | | (外部評価) お寺の行事等へ参加されたり、敬老の日には、だんじりが事業所に来てくれるようになってきている。 | | 民生委員の方を通じて地域の情報を得たり、さらに地域のボランティアの方を紹介していただけるよう、お願いしてみることを検討されていた。 |
| 6 | | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 併設施設の利用者に気軽に立ち寄ってもらえるよう心がけている。 | | 立ち寄りやすいよう入口を開放しておく。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 職員全員が意義を理解出来ているとはいえないが、職員会議等で話し合い改善出来ることは改善していている。 | | これからも職員会議等で話し合い改善に取り組んでいく。 |
| | | | (外部評価) 自己評価は、運営者・管理者・職員が作成し、職員会の意見を聞くようにされた。前回の評価結果を受けて、事業所の案内や表札を工夫する等、全職員で話し合い、改善に向けて取り組まれた。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|---------------------------|---|
| 8 | 5 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 家族、地域の方、市の職員、グループホーム職員、2~ 3回に一度利用者にも参加してもらっている。利用者の 様子や行事、ホーム便りなどの報告をし、意見を出し てもらっている。 | | 会議での意見を検討し、サービス向上に活かしたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 運営推進会議には、体調等にも配慮しながら利用者にも 参加いただいている。地域の方より地域での認知症 の理解が進んでいないとの意見があり、事業所ででき る事について考えておられた。 | | 今後、地域に広く認知症について理解をいただくため に、キャラバンメイトのメンバーとなっている職員が 中心となって、啓発をすすめていきたいと考えておら れた。 |
| 9 | 6 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる | (自己評価) | | |
| | | | 市役所を訪問したり、電話などでアドバイスをしてもら っている。 | | 今後も市役所を訪問し、アドバイスしてもらいサービ スの質の向上に取り組んでいく。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 利用者の身辺等について、市の担当者に相談に乗って もらうこともある。 | | |
| 10 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る | (自己評価) | | |
| | | | 特に勉強会は行っていない。管理者が個々の必要性に 応じて上司、関係者と話し合っている。 | | 機会があれば勉強会を持つ。 |
| 11 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている | (自己評価) | | |
| | | | 日頃から虐待について管理者、職員で話し合ってい る。 | | 当ホームでは虐待はないが、虐待を見過ごす事がない よう注意していく。虐待防止について勉強会を持つ。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|---------------------------|---|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 契約時、解約時に家族に文書や口頭で不安な事や疑問点を伺い説明するようにしている。 | | 家族に不安がないよう十分な説明をしていきたい。 |
| 13 | | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 利用者、管理者、職員が共にゆったりとした雰囲気でお話する機会を作るように心掛けている。その際、意見、不満、苦情などを聞いて、支援している。 | | 利用者の訴えを聞き逃さないようにする。 |
| 14 | 7 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) 毎月郵便物を出す際に、写真を同封したり近況報告をし、ホーム便りも送付している。また、預かり金の管理もしている。家族が面会時に「現金出納帳」を確認してもらい、サインしてもらっている。 | | 家族へは今まで通り報告していく。ホーム便りを楽しみにしてくれている家族もいるので、今後も発行していく。 |
| | | | (外部評価) 利用者が作られた絵手紙の作品や事業所便り、写真をご家族に送付されている。又、ご家族のご事情によっては、職員がお宅に訪問して、状況を説明される場合もある。 | | |
| 15 | 8 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 家族が面会時などに意見を聞くようにしているし、意見箱も設置している。家族会議等でも意見を出してもらっている。 | | 家族からの苦情や相談は必要と思われる事は上司に相談し、対処している。 |
| | | | (外部評価) 家族会を年に1回開催されている。ご家族同士でお話は弾んでおられるが、意見や要望等は少ない。ご家族から事業所の日常生活が知りたいとの意見があり、事業所便りに載せるようにされた。 | | 家族会時や日々のご家族との会話の中で意見を出していただけるよう、工夫をしていきたいと考えておられる。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 16 | | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) 職員の意見や提案は職員会議の時や個々に聞いている。 | | 管理者は職員の意見や提案に対してその都度対処し、必要と思われる時は、上司に相談している。 |
| 17 | | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) 人員の確保はできている。必要に応じ管理者も勤務に入り、調整している。 | | 臨機応変にしていく。 |
| 18 | 9 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) 利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるよう、利用者への不安を最小限に抑えられるよう努力している。 | | 家族には面会に来られた時、異動や退職について話しをしている。 |
| | | | (外部評価) 職員の異動や退職時、利用者には「お嫁に行くのよ」と伝え、送り出していただくこともある。敷地内の併設施設への異動もあり、異動後も時々事業所に遊びに来られている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 事業所内で度々勉強会をしている。何度かに分かれて全員参加している。外部の研修の時は、研修内容を事業所全体で発表したり、職員会で報告している。 | | 外部の研修の時は職員会で報告して一緒に勉強していく |
| | | | (外部評価) 法人内研修の年間計画があり、職員が順次受講するようになっている。また、外部研修についても研修の情報を収集し、積極的に参加されている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|--|---|---------------------------|---|
| 20 | 11 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) | | |
| | | | 他のホームの管理者と意見交換をしたり、併設施設から情報を得ている。また、グループホーム連絡協議会の研修に参加して質の向上を図っている。 | | 相互訪問出来るようにしたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 管理者は、他のグループホーム管理者と意見交換を行っておられる。 | | 今後は、利用者と共に訪問したいと考えておられた。 |
| 21 | | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 管理者は職員個々に相談を受けている。また、職員会議などでも問題点を話し合い、少しでもストレスが軽減できるよう努力している。 | | 今年は事業所全体で旅行も計画されており、食事会も実施している。 |
| 22 | | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 優秀な職員は昼食会などで表彰したり、助言したりしている。 | | |
| <p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p> | | | | | |
| 23 | | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) | | |
| | | | 管理者が入居前本人と面接し、ゆったりした雰囲気の中で不安や希望を聞き取り、受け止めるよう努力している。 | | 管理者は職員に利用者との面接時の状況、不安、希望することなどを伝え情報を共有している。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 24 | | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 管理者が入居前家族と面接し、不安なことや困っていることを良く聞き、家族の利用者への思いをしっかり受け止め信頼関係が出来るよう努力をしている。 | | 管理者は職員に面接時の状況、家族の不安、ホームに対しての希望、利用者への思いなどを伝えている。 |
| 25 | | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 家族から相談を受けた時、状況に応じて併設施設なども考慮しながら、必要としている支援が出来るよう対応している。 | | |
| 26 | 12 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) ホームに見学に来てもらい、ホーム内を案内し、ホームの雰囲気、他の利用者の生活などを見てもらい、安心して入居してもらえるよう家族とは話しあっている。 | | 入居前に併設施設のディサービスや小規模多機能を利用されている方もおり、顔馴染みの職員もいるのでその職員を中心にして、家族と相談しながら本人が安心できるよう支援している。 |
| | | | (外部評価) 利用希望者のご自宅に職員が出向き、ご本人ご家族とお話をされている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 利用者一人ひとりがそれぞれの分野において、深い知識を持っておられるので、職員が利用者から教えられる機会を捉えながら、信頼関係を築いている。 | | 人生の先輩として尊敬の念を持ち職員のわからない事は教えて頂き信頼関係を深めていく。 |
| | | | (外部評価) 職員は、利用者が以前されていたお茶・お花やお作法、着物のこと等を教えてもらっている。利用者から終戦時のお話を聞きともに涙されることもある。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|--|
| 28 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 面会時、家族と必ず対話し、利用者のホームでの様子を伝え、家族と共に本人を支える関係作りをしている。 | | 花見、外食、みかん狩り、敬老の日の行事、クリスマス会・・・に家族の参加をお願いし、一緒に楽しみながら本人を支えていく関係作りをしている。 |
| 29 | | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) これまでの本人と家族の関係を把握し、行事等に一緒に参加してもらったりしてより良い関係が築いていけるように支援している。 | | 行事等により多くの家族が参加してもらえるよう働きかけたい。 |
| 30 | | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている | (自己評価) 利用者が生まれ育った場所に「ふるさと訪問」したり、知人、幼なじみの方が面会にきてくれる。 | | 本人や家族から情報を得て「ふるさと訪問」は継続していく。 |
| 31 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) トラブルが起こらないように、利用者同士の人間関係を把握し、職員全員、利用者が孤立しないよう配慮している。 | | 職員同士が日頃から利用者同士の人間関係について話し合いをしている。 |
| 32 | | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 入院された方のお見舞いに行ったり、併設施設に入所された方とは行事の時等に会ったりするので交流はある。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) | | |
| | | | ゆったりしている時に一人ひとりと会話し、会話の中から本人の希望や意向などを聞きだしている。 | | 基本情報、アセスメントシートなどで職員が利用者の希望や思いを把握している。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | アセスメントシートに、ご本人の情報とともに支援経過や気づき等が記入されていた。 | | |
| 34 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) | | |
| | | | 利用者の経験や生活歴をホームでの生活の中に取り入れ生かせるよう、家族に聞いたり本人との会話の中から情報を得て把握に努めている。 | | 日頃の会話の中から、どのような暮らし方をしていたか把握していく。 |
| 35 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 利用者の一日のバイオリズムを把握し支援している。 | | |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | 介護がその人のニーズにあっているかどうかを常に気をつけている。ケアプランはその都度見直しを考えて見させてもらうようにしている。 | | 今後も利用者のニーズを把握することに努め職員の意見を聞いてすすめていきたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 日々の記録や主治医の意見等も踏まえ、介護計画が作成されている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 37 | 16 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | 症状とプランが合わなくなった時、カンファレンスを実施し、家族、職員、主治医等の意見を聞くようにしている。 | | 個別記録を参考にし、見直しが必要な時は、プランを変更し状態にあった介護を心掛けている。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 日々の記録や業務日誌、その他の記録を参考に職員でカンファレンスを行い、3か月ごとの見直しを行っておられる。 | | |
| 38 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 職員に利用者個々の事項を書き出してもらっている。職員全体で読んで問題があればカンファレンスを実施しプランに反映している。 | | 個別記録と実践はできている。問題点を見つけて今後も観察を密にして対応していく。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 併設施設のサービスなどに利用者が訪問している。 | | 小規模多機能やサービスを訪問したり、当事業所が自主事業として行っている逆サービスを訪問し、事業所の多機能性を活かした支援をしていく。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 利用者は、法人内の他事業所の行事やボランティアの発表時に参加されている。 | | 法人内の他事業所の訪問を通じて、利用者個々の機能回復につなげていきたいと考えておられた。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) 地域のボランティアが来てくれている。(日舞、フラダンス、絵手紙、獅子舞、剣舞、似顔絵等) 地域の保育園の園児の訪問もある。 | | ボランティアで訪問してくれる方との関係を大切にしていきたい。 |
| 41 | | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) 併設施設のケアマネジャーに利用者の相談をすることはあるが、特に何もしていない。 | | 今後、検討していきたい。 |
| 42 | | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) 特に何もしてない。 | | 今後、検討していきたい。 |
| 43 | 18 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) 併設病院があり、病院とホームの連携はとれている。 家族が希望する病院があれば、主治医に紹介状を書いてもらっている。その都度適切な支援をしている。 (外部評価) 週に1回、同敷地内の特別養護老人ホームに歯科医師が往診に来られ、その時に診てもらう利用者もあられる。 | | 家族から信頼されている。 |
| 44 | | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) 日頃から主治医との連絡を密にし何かあれば相談し、治療を受けている。 | | 主治医との信頼関係が出来ている。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 45 | | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) 併設病院の看護師が利用者全員の名前、症状を把握してくれている。職員との信頼関係もあり、気軽に相談している。 | | 信頼関係は出来ている。 |
| 46 | | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 入院時、サマリーを提出している。入院中は看護師や主治医に経過を聞いている。 | | 管理者が家族、主治医、看護師等と何度も話し合っている。 |
| 47 | 19 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) 状態に変化があった場合主治医と何度も話し合い、主治医が家族が納得するまで話しをされ、全員で方針を共有している。 | | 家族の気持ちを大切にしながら、家族、主治医と連携を密に取っていく。 |
| | | | (外部評価) 主治医や看護師との連携を図り、ご家族と相談しながら対応されている。 | | さらに、今後も、ご本人主体のケアを実践していくための話し合いが期待される。 |
| 48 | | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) 主治医と話し合いながら、出来るだけ長くホームで暮らしていけるよう支援している。急変があった時は、併設病院との連携はとれている。 | | 利用者、家族の希望に沿うよう心掛ける。 |
| 49 | | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) 利用者が他の施設に移り住む際は家族と何度も話し合い納得がいくまで説明し、関係者とも十分話し合いや、情報交換をし、ダメージを最少限度にするように努めている。 | | 管理者と関係者が何度も話し合い、情報交換している。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1.その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 50 | 20 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | (自己評価) 利用者の尊厳やプライバシーを損ねるような言動があった時は職員会等で話し合ったり、その都度職員個別に注意している。個人情報の取り扱いについては細心の注意を払っている。 | | 職員の言葉掛けや対応に問題がある時は職員会等で話し合っていく。職員全員がプライバシー保護について考え取り扱いに注意していく。 |
| | | | (外部評価) 「～さん」とお名前と呼ぶ等、ご本人が納得される呼び方に配慮されていた。排泄時の声かけ等も小声でされていた。 | | |
| 51 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | (自己評価) 日頃の会話の中から利用者の意思、希望を聞きだし自分で決定出来ることは決めてもらい押し付けないように心掛けている。 | | 利用者が自分の意思を表現出来るように支援していく。 |
| | | | (外部評価) 一人ひとりのペースに合わせて、ゆっくり過ごしてもらっているが、時々職員のペースのなることがある。 | | 職員が強制しないで自分のしたい事をしてもらい充実した一日を過ごしてもらえようようにしたい。 |
| 52 | 21 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) 職員は、利用者一人ひとりの性格や好みを把握し、その人らしい暮らしができるような支援に心がけておられる。 | | |
| | | | (外部評価) | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) 服は本人に決めて頂いているが、状況に応じてアドバイスしている。理容、美容は家族の協力により行き付けの理美容院を利用されている方もいるが、ほとんどの方は施設に入る訪問理容を利用している。また、行事がある時等化粧をすることもある。 | | 家族に行き付けの理美容店に連れて行って頂くようお願いしているが、ほとんどの家族が施設に入る訪問理容を希望している。 |
| 54 | 22 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 食事の献立、食材準備は併設施設の栄養士が行っているが、献立表を見て利用者の好みに合わない時は献立を変更している。食事の下ごしらえも無理のない程度にしている。片付けはできる方のみ当番を決めてしてもらっている。時々、バイキングや外食をしている。 (外部評価) 調査訪問時、利用者が、料理の下ごしらえや盛り付け、下膳をされている様子がうかがえた。菜園で採れた野菜のお話をしながら食事をされたり、9月には芋炊きを行なう等、食べることを楽しむ工夫がなされていた。 | | 職員が中心になっているので、利用者にもっと関わってもらおう。 |
| 55 | | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) 現在入居者は全員女性でお酒を飲む方もタバコを吸う方もいない。ショッピングの時に好みの物を買っている。 | | ショッピングの時に買ったおやつを個々の食べてもらったり、個々の好みを職員が把握しているので、手作りおやつを作って食べてもらっている。 |
| 56 | | 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) 「生活リズムパターンシート」を作成し、排泄のパターンを把握し、声かけやトイレ誘導をしている。 | | 時間を見て声かけやトイレ誘導を行っているが、間に合わなかったり、拒否して失禁される方もいるので早目に声かけ、トイレ誘導を行う。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組の事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 57 | 23 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | 週6回入浴日を決めているが、拒否される方は、無理に誘わないで翌日入浴してもらっている。 | | 臨機応変に対応していく。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 利用者の体調や希望を聞きながら支援されている。 | | |
| 58 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 日中、横になりたい方は居室で休んでもらったり、食堂のソファに横になってもらうようにしている。 | | 夜間眠れない方は日中散歩やレクリエーションなどで体を動かしてもらう。 |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 朝は一緒に掃除している。畑や花壇を共に作り、共に収穫している。活け花が月2回あり玄関やそれぞれの居室に活けてもらっている。時々お茶会をしてお茶を点ててもらっている。毎週3回音楽療法士が来ている。 | | 日頃の会話の中から利用者の楽しみなどを聞き、支援していく。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 朝、モップや雑巾で居室を掃除される方がおられる。ご主人が作られた句集を何度も見返しておられる方もある。 | | |
| 60 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | お金を自分で持っている方もいるが、ほとんどの方は買い物の際、預かり金より一人ひとりに渡し、職員が見守りをしながら自分で支払いをしてもらっている。 | | お金を自分で持っている方は家族と相談しながら所持してもらっている。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|--|
| 61 | 25 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 併設施設内を散歩したり、外出の機会を多く持つようにしている。本人や家族から情報を得て「ふるさと訪問」等をしている。 | | 今後も外出の機会を多く持つ。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | 利用者は、職員と一緒に毎朝、敷地内を散歩されたり、ごみ出しをされている。ドライブで利用者個々のふるさとを訪問されている。 | | | |
| 62 | | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) | | |
| | | | 利用者が生活していた場所へ、「ふるさと訪問」している。 | | 同じ地域の利用者2,3人で生まれ育った所へドライブしている。 |
| 63 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 電話をしたい利用者には職員が家族に電話し利用者に替わる。毎月、季節のあった絵手紙を家族にだしている。 | | 絵手紙は家族から喜ばれている。利用者も返事が来ると大変喜ばれる。 |
| 64 | | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 居室にてゆっくり過ごせるよう支援している。知人、友人も気軽に訪問してもらえよう職員全員が配慮している。 | | 訪問してくれるすべての方を職員全員で歓迎している。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|--|--|---------------------------|---|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 身体拘束は行っていない。 | | 勉強会や職員会等身体拘束について勉強していく。 |
| 66 | 26 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) 日中は鍵はかけていない。入口のドアは開けていることが多い。犬がいるので、犬が逃げない程度の取り外しができる低い柵をしている。 | | 犬がいるので低い柵をしているが、自由の取り外しが出来るので閉鎖的な感じはない。 |
| | | | (外部評価) 日中、玄関には鍵をかけず、開けておられることが多い。 | | |
| 67 | | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) 利用者が居室にいる時は、さりげなく様子を見に行ったり、言葉掛けをして所在を把握している。帰宅願望が強く外へ出ようとする方は無理に止めず職員と一緒に散歩に行っている。 | | 職員同士で利用者の所在の確認しあっている。 |
| 68 | | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) 利用者一人ひとりの状態を把握し転倒防止や異食がないように様子観察している。洗剤などを保管している押入れは鍵をかけて危険防止に努めている。 | | 常に、利用者一人ひとりの居場所を把握する。 |
| 69 | | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) 火災訓練や救急法の勉強会をしている。日頃から職員会などで利用者一人ひとりの現在の状態などを話し合い、事故防止に努めている。 | | 転倒、窒息などを防ぐためには、日頃から利用者一人ひとりの状態の変化を見逃さないように様子観察する。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|---|---|---------------------------|---|
| 70 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) マニュアルがある。緊急時の応急手当や初期の対応は職員と機会があるたびに話し合っている。 | | 職員同士の連携がとれている。消防署の指導で緊急救急法の講習訓練が予定されている。 |
| 71 | 27 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) マニュアルに沿って併設施設と協力しあい、防災対策の体制を講じている。定期的に事業所全体で一年に2回避難訓練を実施している。 (外部評価) 火災時、地震時の避難訓練を実施されている。約3分ほどで利用者全員の避難が完了した。いざと言う時に、母体施設や地域の協力が得られるよう依頼されている。 | | ホーム独自でも訓練を実施している。 |
| 72 | | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | (自己評価) リスクについて家族が面会時や電話などで説明し、家族と相談し、上司とも対応策を話し合っている。 | | 家族と十分話し合う。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 日頃から職員間の連携が出来ており、利用者に体調の変化や異変があれば、即、対応している。 | | 毎日バイタルチェックし、体調の変化等があった時、職員同士で声を掛け合い情報の共有し、速やかに対応している。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|---------------------------|--|
| 74 | | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 管理者が薬を管理しており、日付を入れて服薬ミスがないようにしている。薬の用法について受診記録があり職員が共有している。薬が変更になった時は申し送りノートに記入しサインしている。 | | |
| 75 | | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) 職員は毎日「生活リズムパターンシート」で排便チェックしており、水分を摂ってもらったり散歩や体操などをして体を動かしてもらったりして、主治医と相談しながら取り組んでいる。 | | 散歩や体操などをして体を動かしてもらおう。 |
| 76 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) 各自、毎食後、口腔ケアをしていただき、習慣としている。 | | 毎食後、利用者一人ひとりに言葉掛けをしている。 |
| 77 | 28 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 「生活リズムパターンシート」に記録し、把握出来るよう工夫している。摂取カロリーは栄養士が行っている。 (外部評価) 夜間8時頃、職員は、利用者に声かけをされ、水分補給をすすめておられる。母体施設の栄養士の方が献立を立て、食材が届くようになっており、職員で工夫して調理をされている。 | | 職員全員「生活リズムパターンシート」を見て支援している。 |
| 78 | | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | (自己評価) マニュアルがあり、対応について職員全員が把握している。また、利用者が外出から帰荘された時は手洗い、うがいを徹底している。業者や面会者には手指の消毒の貼り紙をして徹底している。 | | 利用者職員の手洗いうがいを徹底する。業者、面会者の手指消毒を徹底する。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 79 | | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | (自己評価) 毎日、ふきんや調理用具をハイター消毒している。食材は毎日配達されている。 | | 食中毒予防のために、衛生管理の徹底を図りたい。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 80 | | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | (自己評価) 建物が家庭的といえない為、手作りポスト等を利用者と共に作ったり、花壇や畑を作ったりしている。犬がいるので逃げないように取り外しの出来る低い柵をして自由に出入り出来るよう工夫している。 | | 併設施設の利用者が散歩がてら花や野菜を見に来られる。犬と遊んで帰る方もいる。 |
| 81 | 29 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 建物が、施設的な造りのため、様々な工夫をしている。日射にはすだれ、よしず、カーテンで対応している。食事時は静か過ぎないように、音楽を流し工夫している。 (外部評価) 共用空間には、季節に合わせた手作りの装飾や水墨画、書の掛け軸等もかけてあった。 | | 利用者にとって居心地が良いように、花を活けたり、写真を貼ったり、利用者と一緒に制作した作品を貼ったりしている。また、犬を飼って利用者の心を和ませている。 |
| 82 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | (自己評価) 共有の場所にソファや牛乳パックで作った手作りベンチ等を置き工夫している。 | | 利用者同士がベンチで話しをしたり、ソファで昼寝をしたりしている。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 83 | 30 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) | | |
| | | | 本人や家族と相談しながら、家族の写真、大事にしていたぬいぐるみ、小物入れなどを居室においてくつろげるように工夫している。 | | 家族と相談して馴染みの道具を持ってきてもらう。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 居室には、時計、鏡、テレビ、ソファ等が持ち込まれ、お花が生けてあった。職員のアイデアで大きく引き伸ばしたご家族とご本人の写真が掲示されていた。 | | |
| 84 | | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) | | |
| | | | 室内の換気は度々行っている。室内温度調節もしており、温度計も設置している。 | | 日中は風通しが良いので玄関や窓を開けていることが多いので換気出来ている。 |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 廊下トイレに手すりを設置している。浴槽内は毎回すべり止めを敷いている。夜間、ポータブルトイレを裸足で使用される方に、毎夕、すべり止めを敷いている。 | | 風呂場の脱衣場に手すりを検討していく。 |
| 86 | | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | トイレや居室の目印を手作りで作成し混乱のないように工夫している。 | | 利用者が混乱しないよう更に工夫していく。 |
| 87 | | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 畑、花壇を利用者と共に作り、共に収穫している。天気の良い日は縁台を出して談笑している。 | | |

| . サービスの成果に関する項目 | | |
|-----------------|---|---|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない | 日々の会話の中から利用者の願いや思いを聞いて、暮らしに反映させている。 |
| 89 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | 日頃から職員全員が利用者とのコミュニケーションを大切に、お茶を飲みながら会話をしたり、散歩をしたり、レクリエーションをしたりゆったり過ごしている。犬を飼っており、利用者職員共に癒されている。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 一人ひとりのペースを掴み、出来るだけその方のペースに合わせるように努力している。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 利用者の持っている才能を引き出しホーム内で絵の個展を開いたり、楽器の演奏をしたり毎週3回音楽療法士が来てくれ毎回目的を決めて支援している。いきいきとした生活をして頂けるよう支援している。 |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 利用者が生まれ育ったところへ「ふるさと訪問」している。2,3人一緒にドライブし喜ばれている。ショッピングを兼ねて外食に行くこともある。近くで利用者が希望されたところに散歩にいつている。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 併設病院があり、病院とホームの連携はとれている。家族が希望する病院があれば、主治医に紹介状を書いてもらっている。治療面で不安があれば、主治医が家族に話してくれている。安全面においては洗剤等を収納している物品倉庫に鍵をかけ、職員全員が注意している。 |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 利用者の状況や要望は日々の会話から聞き出し、職員間で情報を交換し安心して暮らせるよう支援している。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない | 面会時家族の不安や悩みの相談にのっている。必要なことは家族に連絡を密にし信頼関係が出来ている。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない | 知人、友人訪ねて来てくれる事がある。地域の方も気軽に訪ねてきてくれるようなホームにしたい。 |

| 項 目 | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
|-----|--|--|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 評価) ③あまり増えていない 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 4 全くいない | あまり増えているとはいえないが、民生委員を通じて訪問したいという申し出がある ので地域の方々に訪問してもらってつながりを持つようにしたい。 |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている (自己 評価) ②職員の2/3くらいが 1 ほぼ全ての職員が 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 管理者が個々に相談を受けている。改善出来ることは、その都度改善していくように 努力している。職員の話しをよく聞くようにしている。 |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ②利用者の2/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 利用者の気持ちを大切にしている。利用者との会話の中からおおむね満足してい るように感じる。 |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ①ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない | 面会時、家族会、運営推進会議の時などに家族の意見や思いを聞くようしている。家 族が安心して自分たちの生活が出来ると喜んでくれている。 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

同一敷地内に病院、老健、特別養護老人ホーム、デイサービス、ケアハウスがあり日頃から連携が取れている。
 利用者も職員も大変明るく、笑顔の絶えないグループホームである。
 緑と自然に囲まれ恵まれた環境の中にある。
 利用者と共に園芸を楽しみ、また、野菜作り等をして共に収穫し味わっている。
 職員と家族とのコミュニケーションがとれており面会に来られた時、どの職員にも気軽に話しかけてくれる。
 一人ひとりの好みに合わせた食事やおやつを提供している。